

【断熱リフォーム工事チェックリスト】

記入例

断熱リフォーム工事の該当項目箇所に必要事項を記入してください。

申請者氏名 長門 太郎

1. 窓の断熱改修工事

- ・該当する項目に✓を入れ、必要事項を記入してください。
- ・窓やガラスが複数ある場合、平面図に窓①、窓②などと箇所がわかるように記し、記入例のように記入してください。
- ・内窓の厚さ構成は、フレーム種別、ガラス種別を書いてください。

工事の種別	窓の数 ガラスの枚数	熱貫流率(W/m ² ・K)または内窓の厚さ構成(mm)
☒ ガラス交換	1枚	ガラス① : 4.65
☒ 外窓交換	2窓	窓① : 3.49 窓② : 3.49
☒ 内窓設置	1窓	窓③ : 樹脂フレーム、Low-E複層ガラス

2. 屋根・天井・外壁・床の断熱改修工事

- ・該当する項目に✓を入れ、必要事項を記入してください。

住宅の構造・工法	木造在来工法				
改修部位	断熱工法	断熱材の種類	断熱材の熱伝導率 (W/m・K)	断熱材の厚さ(mm)	
				施工厚さ	最低厚さ
☐ 屋根の断熱改修	充填断熱、外張断熱、 内張断熱などの工法を記載				
☒ 天井の断熱改修	充填断熱工法	高性能グラスウール14K	0.038	155	152
☒ 外壁の断熱改修	充填断熱工法	高性能グラスウール24K	0.036	80	79.2
☒ 床の断熱改修	充填断熱工法	フェノールフォーム1種3号	0.020	44	44

- ① 断熱材の最低厚さは、下記の式により算出される数値を記載してください。
② 断熱材の施工厚さは、①により算出した最低厚さ以上の断熱材を使用する必要があります。

$$\text{断熱材の最低厚さ(mm)} = \text{熱抵抗値(m}^2\cdot\text{K/W)} \times \text{断熱材の熱伝導率(W/m}\cdot\text{K)} \times 1000$$

※ 熱抵抗値は、別表「断熱材の熱抵抗基準」に掲げる施工部位ごとの値を使用

3. 浴室等暖房機設置工事

- ・該当する項目に✓を入れてください。

☒ 暖房機設置	暖房機を設置する部屋
	☒ 浴室 ☐ 脱衣所

4. 床暖房設置工事

- ・該当する項目に✓を入れ、必要事項を記入してください。

☒ 床暖房設置	床暖房を設置する部屋
	脱衣所